

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	38
----------	----

年月日	2023 年 3 月 28 日 (火)
大会名	令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

公 式 記 録 用 紙

A	県立藤代紫水高等学校										県立小松工業高等学校										B
都道府県		三重県			市町村			津市			会場						回戦				
								サオリーナ メインAコート						準決勝							
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m追加 コフット	A	B							
	20	20		33	32																
7m得点/総数		A		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B		7m得点/総数						
		0/1		1	2 後	3				1	2 後	3	1/1								
				2826	2256	2815				1345	1831										

No.	藤代紫水	G	W	2'	D	DR	No.	小松工業	G	W	2'	D	DR
1	齋藤 慧遵						1	勝地 亮太					
2	山本 隼司						2 c	疋田 剛己	6		1		
3	藤井 悠輔	5					3	相神 海康	1				
4	飛澤 翔	2					4	山崎 颯太	8				
5	大橋 真人	10		1			5	河津 和冴	5		1		
6	牛丸 三士朗	5					6	釜田 昊英	8				
7 c	生鷹 頼太	2					7	ジャブ 卓海	1				
8	小久保 穰	8					8	高来 海人	1				
9	大友 克海						9	秋葉 悠斗	2		1		
10	水野 聖愛						10	川越 蓮珠					
11	茅場 蒼太						11	森 翔真					
12	上西 光生												
13	瀬霜 孝介	1											
14	栗山 摺世												
15	上野 良祐												
17	山崎 琉偉												
監督A	小倉 慶輔						監督A	中谷 昌和					
役員B	滝川 一徳						役員B	樋口 武史					
役員C	会田 亮祐						役員C						
役員D	尾中 祐二						役員D						

A	チーム役員A署名										B
---	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

特記事項

レフェリー	駒谷 研志	波多野 祐介		
TD	長谷川 将規	千種 雄介		
MO	多田 和生			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	38	男子 [①]
----------	----	-------------

令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月28日 (火)	会場	サオリーナ メインコート		
種別	男子	回戦	準決勝		
Aチーム名			Bチーム名		
県立藤代紫水高等学校			県立小松工業高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
33	20	前半	20	32	
	13	後半	12		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mT C			
戦評		記載者氏名	中森一郎		
<p>茨城県代表藤代紫水と石川県代表小松工業の対戦は、最後まで予断を許さない白熱したゲームとなったが、藤代紫水が1点差で逃げ切って決勝戦への進出を果たした。前半立ち上がり、藤代紫水はNo.6牛丸が速攻からミドルシュートを決めて先制するが、小松工業もNo.2疋田のポストシュートで得点する。その後も互いに点を取り合う展開で、5分3対3、8分5対5、12分9対9と、両チーム一步も譲らぬ接戦になる。13分藤代紫水がNo.5大橋のロングシュート、No.8小久保の速攻で2点を連取して抜け出したかと思われたが、小松工業もNo.6釜田が切れのあるミドルシュートを打ち込んで、流れを渡さない。それでも藤代紫水はNo.8小久保、No.5大橋らで19分16対13とリードするが、小松工業もNo.2疋田、No.6釜田で3点を連取して再び追いつき、その後も互いに譲らず20対20の同点で前半を終了する。後半に入り、立ち上がりはやや小松工業のペース。No.3相神、No.4山崎らで6分24対22とリードする。しかし藤代紫水は、ここからNo.6牛丸、No.7生鷹らで4点を連取して再び逆転するが小松工業もNo.6釜田が2本のカットインシュートを決めて振り出しに戻す。1点を争うシーソーゲームはその後も続き、ラスト5分で30対30の同点。さらに1点ずつを取り合い残り2分を切ったところで藤代紫水がタイムアウトをとる。その後No.5大橋が豪快なロングシュートを決め、さらにNo.3藤井のサイドシュートで決定的な2点差をつける。小松工業も終了間際にNo.2疋田のサイドシュートで追いつくが一步及ばず、藤代紫水が明日の決勝戦に駒を進めた。</p>					